

# 令和5年度 事務点検・評価報告書



坂町教育委員会



## 目 次

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ◆ 教育委員会の点検・評価制度の概要 . . . . .    | 1 |
| ◆ 評 価 委 員 の 点 検 ・ 評 価 . . . . . | 2 |
| ◆ 教育委員会の活動状況及び活動概要 . . . . .    | 7 |

### 【学 校 教 育 課】

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| ◇ 道 徳 心 の 高 揚 . . . . .             | 11 |
| ◇ 豊 かな 心 の 育 成 . . . . .            | 12 |
| ◇ 確 かな 学 力 の 育 成 . . . . .          | 13 |
| ◇ 健 や かな 体 の 育 成 . . . . .          | 14 |
| ◇ 生 徒 指 導 体 制 の 確 立 . . . . .       | 15 |
| ◇ 安 全 教 育 の 推 進 . . . . .           | 17 |
| ◇ 坂 町 学 び の ア ン ケ ー ト 結 果 . . . . . | 18 |

### 【生 涯 学 習 課】

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| ○ 地 域 文 化 の 保 存 、 継 承 . . . . .   | 20 |
| ○ 生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実 . . . . .    | 21 |
| ○ 生 涯 ス ポ ー ツ の 推 進 . . . . .     | 23 |
| ○ ウ オ ー キ ン グ の 推 進 . . . . .     | 24 |
| ○ 生 涯 学 習 施 設 の 有 効 活 用 . . . . . | 25 |

## 教育委員会の点検・評価制度の概要

### 1 点検評価の趣旨

平成 20 年 4 月から地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務付けられた。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

**第 26 条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

**2** 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 対象年度

令和 5 年度

### 3 点検・評価の対象事業

点検・評価の対象は、坂町長期総合計画並びに教育行政方針に準ずる各事業の経営目標を定め、各事業の取組等について点検・評価を行う。

### 4 点検評価の方法

点検評価は、各事業で評価指標等を設定し、次の評価基準に従って評価する。

| 区分 | 内 容                         |
|----|-----------------------------|
| A  | 目標値：＋10 ポイント以上              |
| B  | 目標値：＋10 ポイント未満・－10 ポイントを超える |
| C  | 目標値：－10 ポイント以下・－20 ポイントを超える |
| D  | 目標値：－20 ポイント以下              |

※ただし、事業によっては、別に評価基準を定める。

## 評価委員の点検・評価

### はじめに

令和5年度の教育委員会事務点検・評価においては、昨年度に引き続き、評価委員へのヒアリングを実施し、「4 点検評価の方法」とともに【令和5年度 点検評価票】の詳細な説明を受けて、質疑応答を行った。とりわけ、各点検評価票をめぐっては、「4 成果と課題・改善策」について率直な意見交換を行った。その意見交換にあたっては、坂町の取り組む重要施策の成果が、現在のおかれた困難な状況を踏まえて実施された結果であり、その課題認識が示されているのか、また、それを受けて令和6年度に向けての改善策となっているのかといった点を大切に実施した。その際に、評価委員は、坂町の「現在のおかれた困難な状況」として、昨年度と同様、平成30年の西日本豪雨被害を踏まえた取組、及び5類へ移行した新型コロナウイルス感染防止対策の状況を踏まえた視座への配慮について強く意識した。

なお、「教育委員会事務自己点検・評価」の評価結果の妥当性及び改善策の有効性については、ヒアリングにおいて意見交換することを通して修正点を確認した。その結果、本報告書においては、これまで用いてきた評価指標である「B：評価は妥当である。」とともに「B：改善策は有効と考えられる。」以上となるように修正されていることを確認することができた。

### 評価指標

| 区分 | 評価の妥当性：改善策の有効性                  |
|----|---------------------------------|
| A  | 評価は極めて妥当である。：改善策は極めて有効と考えられる。   |
| B  | 評価は妥当である。：改善策は有効と考えられる。         |
| C  | 評価は妥当とはいえない。：改善策は有効と考えられない。     |
| D  | 評価は全く妥当とはいえない。：改善策は全く有効と考えられない。 |

### (1)「道徳心の高揚：『礼節』を基本とした教育の推進」について

令和5年度においても小学校・中学校ともに9割以上の肯定的な回答が維持されており、評価できる。『坂町道徳教育推進協議会』を中心とした『坂町礼節週間』への取組や『考え、議論する道徳』の授業改善を積極的に推進できている」ことを大切に、これまでの成果を継続できるよう、また、コロナ禍にあって進められてきたICTの効果的な活用をはじめ、保護者・町民を巻き込む工夫をより一層進めていただきたい。各小中学校、教育委員会事務局がともに当事者意識をもって、「坂町礼節週間」や「道徳参観日」の情報発信・相互交流を推進し、今後も、児童生徒を主人公とした坂町独自の有効な手立ての特定・集中すべき取組について継続して取り組んでほしい。

### (2)「豊かな心の育成：郷土愛の醸成・グローバル化教育の推進」について

令和5年度においては、「将来、国際社会で活躍したいと考えることがある。」の肯定割合は低い、改善策に記載するように、中学校における「英語で教室から世界とつながる」

プラットフォーム事業（県）には大いに期待したい。その際、国際社会で活躍するとはどういうことか、児童生徒を国際社会の一員に位置づけ、坂町で学び育つことを支援して欲しい。郷土愛の醸成にあたって、学校運営協議会や総合的な学習の時間の取組が推進できていることにも引き続き期待したい。また、ICT を効果的に活用した授業づくりなど、コロナ禍で困難な状況にあった学校の取組を支えてきた、これまでの経験を元に、ポストコロナ禍のもとでの学校教育における多様な取組の指導支援を引き続き期待したい。

### （３）「確かな学力の育成：基礎的・基本的な知識・技能の定着」について

「確かな学力の育成」にあたっては、継続して取り組んできた坂町主催研修の成果として「児童生徒一人一人の課題や取組方針等を分析し、積極的な授業改善及び個に応じたきめ細かな指導について協議を行った成果」が指摘されている。「個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができ」、教育委員会の継続した取組支援（「小学校専科指導（理科、英語、体育）や学校間連携（算数）、指導方法改善（算数）に係る加配」など）の成果が窺える。

「確かな学力」を身に付ける主人公が児童生徒であることを尊重し、「主体的に学ぶ児童生徒を育成」する改善策となるよう支援の在り方を提案し、それに係る財政的な裏付けを確保できるように、引き続き首長部局に積極的にアピールしていただきたい。また、課題とされる英語について、「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業（県）を活用した英語力の向上を、坂町小中連携研修に位置づける取組にも大いに期待したい。

### （４）「健やかな体の育成：体力・運動能力の向上」について

令和４年度に引き続き「『体力づくり改善計画』を活用した授業づくりや運動の日常化、部活動（中学校）の充実が、児童生徒の運動機会の増加や運動に対する意欲につながっている」ことは評価できる。令和５年度も「今後、１人１台のタブレット端末を活用することで、自己目標の設定や記録への挑戦などを視覚的に捉えることができるよう支援して、意欲のさらなる向上及び体力・運動能力の向上を図る」とされる。また、一校増えた「小学校教科担任制推進加配（体育科：坂小及び横浜小配置）を中心に、体力向上の取組を町内全校で共有」する取組が有効と考えられるので、令和６年度も引き続き首長部局により一層積極的にアピールして、今後の取組につなげていけるよう大いに期待したい。

### （５）「生徒指導体制の確立：積極的生徒指導の充実」について

児童生徒の規範意識や自己肯定感に関するアンケート結果では、肯定的回答が高い割合であることは評価できる。もっとも、不登校児童生徒数では、小学校で全国平均値を下回ったものの、中学校では全国平均値を上回った。その原因分析や改善に向けた方策には首肯できるものであり、「子どもと向き合う時間」の確保とともに、引き続き教育委員会としての施策展開の「見える化」に努め、「教員の働き方改革」とあわせ情報発信にも努めて「児童生徒の健やかな学びを保障する」支援の在り方を提案し、それに係る財政的な裏付けを

確保できるように、引き続き首長部局に積極的にアピールしていただきたい。

#### (6)「安全教育の推進：防災教育の充実」について

「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」（県）の指定事業を活用しての「防災教育」の推進や、「ひろしまマイ・タイムライン」の活用による各家庭における避難行動を考える取組など、防災意識を高める取組の成果が示されている。令和6年度でも自分事と捉え「自他の命を守り抜くために必要な判断力・行動力」を児童生徒が獲得できるように、研究推進リーダー教員を中心に防災教育における単元開発を活かすよう期待したい。また、保護者・地域住民を巻き込んで「自助」と「共助」の精神を育む取組となって、合い言葉「待つな!迷うな!逃げろ!」を実践できるように、「平成30年豪雨災害の経験や教訓」を風化させない教育委員会の「公助」の視点を検討することも引き続き期待したい。

#### (7)「地域文化の保存、継承：坂町の歴史や文化に対する理解と関心の醸成」について

令和5年度では予定した主催行事等も開催できなかったなかで、イベントのアンケート結果の肯定的回答割合は、「関心・意欲」「満足度」とともに目標値とほぼ変わらず高い割合を示している。令和4年度までのコロナ禍にあっても取組可能な改善策として、例えば、「イベントにおける町史に記載のある史跡等の取り入れ」や「案内看板の動画」など、地道に取り組まれた成果と考えられる。なお、「長期間にわたって中止してきた影響から、イベント自体の認知度が下がっている懸念がある」と危惧されており、広報等の工夫に大いに期待したい。そして、「2 取組・方策（2）文化財等の維持管理と活用」に示すように、坂町の歴史や文化に対する理解と関心を醸成し、後世に文化を継承し文化意識の向上・町勢発展に資するよう、生涯学習者である町民が主人公となる視点を活かすよう期待したい。

#### (8)「生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実：図書館サービスの向上」について

令和5年度には、新型コロナウイルス対策も5類への移行に伴い、評価指標とした「図書等貸出冊数」や「年間一人当たりの貸出冊数」では実績値は目標値を上回り、図書館サービスの充実が感じられる。「図書館こどもまつり」も限定的ながら3年ぶりに開催するなど、イベント等の啓発事業もコロナ禍前にも増して成果を上げている。そのようななか、「インターネット予約利用者数」では実績値は目標値を下回った。コロナ禍による制限が解除され、来館し書棚を前にして図書等に触れる喜びが戻ってきたとも考えられ、図書館と町民利用者との多様な関わり方を検討する契機を感じさせられる。その点では、これまでもコロナ対策を取りつつ再開してきた「読み聞かせ講座」「折り紙体験」などとともに、情報発信について「アナログとデジタルでの複数の情報発信方法を活用する」こと、「図書館での各種サービスの内容を改めて周知する」ことや税務住民課へ協力依頼するなど「関係機関と連携し事業の再開にむけて調整していく」ことなどを通して、図書館と町民利用者を繋いで行こうとする取組姿勢に大いに期待したい。その際、学校図書館とのネットワ

ーク化をより一層推進できているように、図書館の活動が図書館に留まるのではなく、「学習機会の提供」における「講座内容」と連携して図書館情報を提供するなど、生涯学習者へのサービスも引き続き検討されるよう期待したい。そして、学校図書館とのネットワーク化の推進が、「学校教育」の重点的な取組である「道徳心の高揚」や「郷土愛の醸成・グローバル化教育の推進」の事業とも連携して展開していくよう期待したい。

#### (9)「生涯スポーツの推進：生涯スポーツ社会の実現」について

令和4年度まで新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた事業も多いなか、「親子ふれあい体操教室」など各種教室は継続して実施でき、参加した子どもの育ちの様子が成果として示されている。また、「徹底した感染症予防対策や町独自の施設利用の制限を設定」など、消毒や三密等の感染対策を講じるなどして事業実施できた経験を踏まえ、町民の健康を考えて開催できるよう、5類に移行したコロナ対策のなかで実現していくことを期待したい。「ホームページや公式 LINE 等により、スポーツイベントの開催案内を掲載するなど、積極的な情報発信」に努めることにも、引き続き期待したい。その際、これまでも指摘したように、西日本豪雨の被害のなか、町民を勇気づける取組における経験を生かし、今後も事業充実に努めて生涯スポーツの推進の施策が、坂町の保健・医療・福祉など、他部局とも結ばれてより効果的なものとして展開されることを期待したい。

#### (10)「ウォーキングの推進：『坂町悠々健康ウォーキング大会』の充実」について

「生涯スポーツの推進：生涯スポーツ社会の実現」の特色ある事業として、本事業は坂町といえば「ウォーキング」を印象づけるものと評価できる。令和5年度に5年ぶりに開催でき、参加人数は目標値の約半数ではあるものの、参加者の意見に示されているように、「満足度」はほぼ全員が「満足」という結果である。「新型コロナウイルスの影響」で中止となるなかでも、開催に向けて「大会運営の工夫・改善」を継続し続けてきた成果が活かされたと評価したい。これまでに検討されてきた「ウォーキング大会の開催の在り方」や「新しい魅力的なイベント」等の成果も活かして、今後も実行委員会や関係団体、関係各課等と検討・協議を行うことを期待するとともに、そこで得られた叢智が他の生涯学習の事業に参考となるように「熟議」されるものであることを期待したい。

#### (11)「生涯学習施設の有効活用：町民交流センターの活用促進」について

5類に移行したコロナ対策のもとで、施設利用制限の解除に伴い、令和5年度の施設利用人数の実績値や、また、Facebook のアクセス数の実績値は順調に増加している。これらの成果は、コロナ禍の中でも地域に密着した開かれたホールを目指した取組や坂町内外への情報発信という地道に取り組まれた成果と評価したい。地域に密着・開かれたホール運営によって、「町民に親しまれ、スポーツ・文化活動の交流拠点として広く活用されるよう、関係機関と連携・協力し、利用促進に努める。」という「具体的なねらい」の達成に向け、アン

ケート結果の精査とともに、改善策に示すように、「町民の生の声に直接耳を傾け、ニーズに応じた事業を展開していく」ことを大切にして、町民交流センターが坂町の生涯学習推進のシンボルとなるよう、その利用にかかる施策や取組に一層期待したい。

## おわりに

以上、各項目に即して点検評価の結果に基づいて意見を述べた。最後に、報告書全般に関わって意見を述べ、今後に期待したい点について指摘したい。

坂町における「教育委員会事務自己点検・評価」は充実した自己点検評価が継続されている。そのようななか、平成30年度の西日本豪雨災害や5類に移行した新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、坂町に住まう・憩う・働く人々の大切にしてきた価値に注目して優先順位をもって取り組まれてきていることに敬意を表したい。今後においても、点検評価の結果が、町民における学校教育・生涯学習の充実に向けて、町民と「ともに」より一層の改革・改善につながるための工夫に引き続き尽力していただきたい。

そのため、第一に、成果指標（アウトカム）としての視点から評価に至ったエビデンス（証拠）に掲げる数値目標の設定について点検と精緻化を進めていただいているところであるが、量的に示された数値目標を補って、質的にどのように変容したのかを分析し、事業の目標に対して有効な施策であったのか、検証していくことを引き続き期待したい。

第二に、教育委員会の事業実施にあたっては町の他部局の事業との関連性をもって展開できているか意識して取り組んできた点を活かして、引き続き、町民の学校教育・生涯学習の推進に寄与できる取組・方策の充実に努めていただきたい。その際には、それらの事業実施にあたって、町民を単なる「お客さん」に位置づけることなく、町民こそが「主人公」として「ともに」事業を実施していることとなっているかどうかを常に意識していただきたい。

最後に、説得力のある自己点検評価報告書が、坂町住民の共有財産となるよう、これまで同様に、次の点には引き続き期待したい。第一に、坂町独自の特色をもつ事業施策について点検評価して町民に積極的に情報発信し、町民が主人公となる事業施策であることをアピールして欲しい。第二に、学校教育の充実について、設置者としての事業展開が学校現場による真摯な取組を通じて実現できることを踏まえ、設置者の視点を明確にした具体的な支援策をもって学校現場の支援の充実により一層努めて欲しい。

坂町教育委員会事務局には、そのような期待に応えていただき、首長部局に対して財政的な裏付けを確保して、教育委員会の事業展開におけるPDCAサイクルを実働させ、学校教育・生涯学習の主人公である学習者の支援に、また、その学びを支える教員をはじめとする指導・支援者の支援に、今後も引き続き努められることを一層期待したい。

## 【評価委員】

広島大学 名誉教授 林 孝

## 教育委員会の活動状況及び活動概要

### 1 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員会委員

教育委員は、町長が議会の同意を得て任命した教育長及び4名の委員により構成する。  
令和6年3月31日現在の教育委員は、次のとおりである。

| 職 名      | 氏 名     | 性別 | 任 期                     |
|----------|---------|----|-------------------------|
| 教育長      | 枝 廣 泰 知 | 男  | 令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日    |
| 教育長職務代理者 | 松 村 英 勝 | 男  | 令和5年12月17日 ～ 令和9年12月16日 |
| 委 員      | 埤 本 友 造 | 男  | 令和2年12月5日 ～ 令和6年12月4日   |
| 委 員      | 平 沖 純 子 | 女  | 令和4年4月1日 ～ 令和8年3月31日    |
| 委 員      | 佐 野 友美子 | 女  | 令和5年4月1日 ～ 令和9年3月31日    |

#### (2) 教育委員会会議の開催状況 14回（定例会12回、臨時会2回）

#### (3) 教育委員会会議での議案の審議状況 議決の状況（令和5年度）25件

| 番号 | 議案名                                                                            | 可決日    | 備 考   |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| 5  | 令和5年度教職員研修の方針について                                                              | 4月18日  |       |
| 6  | 坂町文化財保護委員の委嘱について                                                               | 4月18日  |       |
| 7  | 坂町社会教育委員の委嘱について                                                                | 4月18日  |       |
| 8  | 教科用図書採択基本方針について                                                                | 5月23日  |       |
| 9  | 坂町立町民交流センター条例施行規則の一部改正について                                                     | 5月23日  | 規則第1号 |
| 10 | 令和4年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について                                                     | 6月20日  |       |
| 11 | 令和5年度坂町教育委員会経営計画・主要施策について                                                      | 7月12日  |       |
| 12 | 令和6年度使用小学校用教科用図書採択について                                                         | 8月22日  |       |
| 13 | 令和6年度使用特別支援学級用教科用図書採択について                                                      | 8月22日  |       |
| 14 | 教育長の事務委任規則の一部改正について                                                            | 11月21日 | 規則第2号 |
| 15 | 坂町立学校職員服務規程の一部改正について                                                           | 11月21日 | 訓令1号  |
| 16 | 坂町立小中学校長に対する事務委任規程の一部改正について                                                    | 11月21日 | 訓令2号  |
| 17 | 通学区域に関する指定学校の変更がある児童生徒について                                                     | 12月19日 |       |
| 1  | 令和6年度坂町教育行政方針について                                                              | 2月8日   |       |
| 2  | 坂町立小中学校におけるセクシャル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業、介護休暇等に関するハラスメント及びパワー・ハラスメントの防止に関する要綱の制定について | 2月8日   | 訓令1号  |
| 3  | 令和6年度小中学校県費負担教職員人事に係る内申について                                                    | 3月7日   |       |
| 4  | 坂町スポーツ推進委員の委嘱について                                                              | 3月21日  |       |
| 5  | 坂町スクールカウンセラー設置要綱の一部を改正する要綱について                                                 | 3月21日  | 訓令2号  |
| 6  | 坂町スクールソーシャルワーカー設置要綱の一部を改正する要綱について                                              | 3月21日  | 訓令3号  |
| 7  | 坂町非常勤講師設置要綱の一部を改正する要綱について                                                      | 3月21日  | 訓令4号  |
| 8  | 坂町文化財保護委員会委員の委嘱について                                                            | 3月21日  |       |
| 9  | 坂町中学校部活動指導員設置要綱の一部を改正する要綱について                                                  | 3月21日  | 訓令5号  |
| 10 | 坂町立小中学校用務員等設置要綱の制定について                                                         | 3月21日  | 訓令6号  |
| 11 | 学校における働き方改革取組方針の一部改正について                                                       | 3月21日  |       |
| 12 | 坂町立図書館管理運営規則の一部改正について                                                          | 3月21日  | 規則第1号 |

(4) 議案以外の報告・協議状況

| 月 日       | 報告・協議内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 18 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度第1回広島県市町教育長会議について</li> <li>○坂町教育委員会事務局事務分掌について</li> <li>○4月議会臨時会（4月7日）について</li> <li>○令和4年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について</li> </ul>                                                                                                                                    |
| 5 月 23 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国町村教育長会第65回定期総会・研究大会について</li> <li>○令和4年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について</li> <li>○5月8日以降の新型コロナウイルス感染症対応について</li> <li>○令和5年6月議会提案見込事項について</li> </ul>                                                                                                                         |
| 6 月 20 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第66回広島県市町教育長会定期総会について</li> <li>○第1回市町教育委員会教育長ミーティング（6月7日）について</li> <li>○第1回西部教育事務所管内教育長、部・課長等合同会議について</li> <li>○令和5年度坂町教育委員会経営計画・主要施策について</li> <li>○6月議会定例会について</li> <li>○広島県市町教育委員会連合会定期総会について</li> </ul>                                                         |
| 7 月 12 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○西部教育事務所による学校訪問について</li> <li>○「坂町防災の日」について</li> <li>○広島県女性教育委員グループ総会・研修会（7月7日）について</li> <li>○7月議会臨時会（7月3日）について</li> <li>○議会全員協議会（7月7日）について</li> </ul>                                                                                                               |
| 8 月 22 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○坂町の教育を考える会（7月18日）について</li> <li>○令和5年9月議会提案見込事項について</li> <li>○令和5年度全国学力・学習状況調査について</li> <li>○令和5年度産業文教委員会について</li> </ul>                                                                                                                                            |
| 9 月 26 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○中国五県町村教育長研究大会について</li> <li>○西部教育事務所による小学校訪問について</li> <li>○令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について</li> <li>○9月議会定例会について</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| 10 月 17 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回市町教育委員会教育長ミーティング（10月5日）について</li> <li>○議会全員協議会（10月6日）について</li> <li>○坂町教育委員会視察研修について</li> <li>○令和5年度経営計画・主要施策の中間報告について</li> </ul>                                                                                                                                 |
| 11 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○広島県市町教育長会研修会（10月27日）について</li> <li>○横浜小学校の環境出前授業（11月13日）について</li> <li>○市町村教育委員会研究協議会（11月10日）等について</li> <li>○広島県女性教育委員グループ第2回研修会（11月13日）について</li> <li>○教職員先進地視察研修（10月24日、25日）について</li> <li>○令和5年12月坂町議会定例会提案見込事項について</li> <li>○通学区域に関する指定学校の変更がある児童生徒について</li> </ul> |
| 12 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○松村委員の再任及び教育長の職務代理・代行者指名について</li> <li>○西部教育事務所管内教育長・部・課長等会議について</li> <li>○令和6年度坂町教育行政方針の項目について</li> <li>○12月議会定例会について</li> <li>○通学区域に関する指定学校の変更がある児童生徒について</li> </ul>                                                                                               |
| 1 月 16 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年坂町成人式等について</li> <li>○第2回坂町の教育を考える会について</li> <li>○令和6年度坂町教育行政方針について</li> <li>○教育長が臨時に代理した事項の報告及び承認について</li> </ul>                                                                                                                                               |
| 2 月 8 日   | ○令和5年度第2回広島県市町教育長会議について                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2 月 20 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○最近の教育の動向について</li> <li>○議会全員協議会（2月2日）について</li> <li>○産業文教委員会（2月2日）について</li> <li>○令和6年3月議会提案見込事項について</li> </ul>                                                                                                                                                       |
| 3 月 7 日   | ○最近の教育の動向について                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 3 月 21 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3回坂町の教育を考える会（3月13日）について</li> <li>○坂町立小中学校児童生徒皆勤賞・精勤賞表彰要綱の一部改正について</li> <li>○教育委員会、教育委員会の所管に属する学校及び付属機関の職員の任免その他の人事について</li> <li>○3月議会定例会及び予算審査特別委員会について</li> <li>○坂町立小中学校における働き方改革の取組について</li> </ul>                                                              |

## 2 教育長・教育委員の活動概要

### (1) 各種会議への出席

| 会 議 名                           | 出席者                           | 実施月日             | 開催地   | 備考 |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------|-------|----|
| 令和5年度第1回広島県市町教育長会議              | 教 育 長                         | 4月13日            | 広島市   |    |
| 安芸郡教育長会議                        | 教 育 長                         | 4月25日            | 府中町   |    |
|                                 |                               | 6月16日            |       |    |
|                                 |                               | 11月17日           | 海田町   |    |
| 全国町村教育長会第65回定期総会並びに研究大会         | 教 育 長                         | 5月15日<br>5月16日   | 東京都   |    |
| 令和5年度広島県町教育長会総会等                | 教 育 長                         | 5月26日            | 府中町   |    |
| 広島県市町教育委員会連合会定期総会               | 松村委員                          | 5月31日            | 広島市   |    |
| 令和5年度第1回広島県西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議 | 教 育 長                         | 6月9日             | 広島市   |    |
| 令和5年度広島県女性教育委員グループ総会及び第1回研修会    | 平沖委員<br>佐野委員                  | 7月7日             | 広島市   |    |
| 令和5年度広島県町教育長会（web）              | 教 育 長                         | 8月7日             | 坂 町   |    |
| 令和5年度中国五県町村教育長会研究大会             | 教 育 長                         | 8月17日<br>8月18日   | 府中町   |    |
| 令和5年度坂町教育委員会視察研修                | 教 育 長<br>全 委 員                | 10月12日<br>10月13日 | 岡山市   |    |
| 令和5年度臨時広島県市町教育長会議               | 教 育 長                         | 10月20日           | 東広島市  |    |
| 令和5年度教職員先進地視察研修                 | 教 育 長                         | 10月24日<br>10月25日 | 愛知県   |    |
| 広島県町教育長会研修会                     | 教 育 長                         | 10月27日           | 大崎上島町 |    |
| 広島県市町教育委員会教育委員研修会               | 教 育 長<br>松村委員<br>埴本委員<br>佐野委員 | 10月30日           | 広島市   |    |
| 令和5年度市町村教育委員会研究協議会              | 教 育 長<br>松村委員<br>埴本委員<br>佐野委員 | 11月10日           | 広島市   |    |
| 令和5年度広島県女性教育委員グループ第2回研修会        | 佐野委員                          | 11月13日           | 福山市   |    |
| 令和5年度第2回広島県西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議 | 教 育 長                         | 11月21日           | 呉 市   |    |
| 令和5年度第2回広島県市町教育長会議              | 教 育 長                         | 1月26日            | 広島市   |    |

(2) 教育委員の学校等訪問

| 訪問日       | 訪問先    | 内 容                                 |
|-----------|--------|-------------------------------------|
| 6 月 20 日  | 坂小学校   | ○ 校長による学校経営方針について<br>○ 授業参観及び意見交換   |
| 9 月 26 日  | 小屋浦小学校 | ○ 校長による学校経営方針について<br>○ 授業参観及び意見交換   |
| 11 月 21 日 | 坂中学校   | ○ 校長による学校経営方針について<br>○ 授業等の状況及び意見交換 |
| 1 月 16 日  | 横浜小学校  | ○ 校長による学校経営方針について<br>○ 授業参観及び意見交換   |

(3) 教育委員の社会教育施設等訪問

| 視察日      | 視察場所                        | 内 容          |
|----------|-----------------------------|--------------|
| 5 月 23 日 | 文化財倉庫                       | ○ 施設見学及び意見交換 |
| 8 月 19 日 | 留守家庭児童会（横浜ふれあいセンター及びひかり児童会） | ○ 施設見学及び意見交換 |

## 令和5年度 点検評価票

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 中期経営目標 | 道德心の高揚          |
| 短期経営目標 | 「礼節」を基本とした教育の推進 |

### 1 具体的なねらい

よりよく生きるための基盤となる道德性を養うとともに、「考え、議論する道德」の授業を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 「礼節」を基本とした教育を推進

教職員と児童生徒間及び児童生徒相互の信頼関係を構築し、発達段階を踏まえた丁寧な指導を教育活動全体を通して粘り強く繰り返し実践する。

#### (2) 坂町道德教育推進協議会の開催（3回／年）

本協議会で研究を深め、道德的な課題を児童生徒一人一人が自分自身の問題と捉え、「考え、議論する道德」への授業改善を図る。

学校・家庭・地域との連携・協力を大切にするとともに、「坂町礼節週間」「道德参観日」を積極的に情報発信し、相互交流の場を設定する。ICTの活用も意識し、情報発信を工夫する。

#### (3) 道德教育推進教師を中心とした取組

道德教育推進教師を中心とし、時と場に応じた挨拶や言葉遣いのできる「礼儀」、立場をわきまえ、よく考えて行動する「節度」を全ての教育活動で育成する。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                                                    | 目標値                                    | 実績値                                                | 評価 |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------|----|
| ○坂町学びのアンケート調査<br>(過去3年間の平均値比較)<br>※アンケート内容：18・19頁参照<br>1「礼節」2「道德」に関する質問 | ○肯定的な回答の割合<br>・小学校：92.2%<br>・中学校：97.1% | ○肯定的な回答の割合<br>・小学校：95.1%(+2.9)<br>・中学校：93.3%(-3.8) | A  |

※評価方法…A:目標値と同等、B:-10ポイント未満、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

○アンケートの調査結果では、小・中学校とも9割以上の肯定的な回答が近年維持されている。  
○成果が維持されている要因として、「坂町道德教育推進協議会」を中心とした「坂町礼節週間」への取組や「考え、議論する道德」の授業改善が積極的に推進できていると考えられる。  
○コロナ禍のため実施できていなかった道德参観日については、令和5年度、4校中2校の学校にて実施することができた。引き続き、ICTを効果的に活用した授業改善を行い、令和6年度は全校にて道德参観日を実施する等、道德教育の取組を保護者や地域にも発信していく。  
○令和6年度以降も、坂町礼節週間や道德参観日の開催、学校通信等の取組を進め、「礼節」を基本とした教育をより一層推進する。

## 令和5年度 点検評価票

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 中期経営目標 | 豊かな心の育成            |
| 短期経営目標 | 郷土愛の醸成・グローバル化教育の推進 |

### 1 具体的なねらい

郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める態度を育成する。また、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献する態度を育む教育を推進する。

### 2 取組・方策

- (1) 「地域とともにある学校づくり」の推進  
 地域の人的・物的資源の活用、社会と共有・連携しながら、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。また、地域行事や活動、文化等に興味をもち、それを大切にすることを通して、郷土を愛する心の醸成を図る。
- (2) 坂町外国語教育研修の開催  
 教職員の英語力・実践的指導力の向上を図るとともに、経験の異なる教員が互いに学び合う授業実践研修を充実させる。(3回/年)  
 「ミート・ザ・ワールド・イン・サカ(グローバル・キャンプ)」を開催し、英語で外国人と交流する体験活動の機会を提供することにより、英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育成する。(1回/年)
- (3) 外国語推進リーダー・外国語活動講師の配置  
 外国人外国語活動講師や日本人外国語活動講師、小学校専科教諭(外国語推進リーダー)、充実したスタッフを配置し、連携を密にしながら子どもたちの英語による表現力の向上、英語を用いたコミュニケーション力を育む活動を充実する。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                                                        | 目標値                                      | 実績値                                               | 評価 |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------------------------------------------------|----|
| ○坂町学びのアンケート調査<br>(過去3年間の平均値比較)<br>※アンケート内容: 18・19頁参照<br>3「郷土愛・グローバル化」に関する質問 | ○肯定的な回答の割合<br>・小学校: 74.5%<br>・中学校: 76.9% | ○肯定的な回答の割合<br>・小: 72.3%(-2.2)<br>・中: 60.0%(-16.9) | B  |

※評価方法…A: 目標値と同等、B: -10ポイント未満、C: -10ポイント以下・-20ポイントを超える、D: -20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)や総合的な学習の時間において、地域住民や保護者等が参画し、「地域とともにある学校づくり」を推進することができた。ゲストティーチャーから、郷土の歴史や工夫等を直接学び体感することで、郷土愛の醸成につなげることができた。
- 外国語推進リーダー等の専門的な知識・技能を有する講師を配置し、生きた英語を直接体験することができ、子どもたちの英語による表現力の向上や教職員の授業力の向上につながった。
- 坂町学びのアンケートでは、「将来、国際社会で活躍したいと考えることがある。」のアンケート項目について、特に課題が見られた。令和6年度は、中学校において、「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業(県)にて海外校と連携し、外国語で表現することの楽しさや意味について考える。異なる文化や価値観を理解し、国際社会の発展に貢献する人材を育成する。
- 今後、ICTを効果的に活用した授業づくりを含め、ペアやグループで英語を使って伝え合う活動をより一層充実させるなどの授業の改善・工夫に努め、偉人漫画の活用及び日々の生活の中で郷土愛の醸成及びグローバル化教育の推進を図る。

## 令和 5 年度 点検評価票

|        |                  |
|--------|------------------|
| 中期経営目標 | 確かな学力の育成         |
| 短期経営目標 | 基礎的・基本的な知識・技能の定着 |

### 1 具体的なねらい

基礎・基本的な知識や技能の定着を図り、加えて学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力を育成する。

### 2 取組・方策

|                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 坂町 ICT 教育フォーラムの開催（3 回／年）<br>町内全教職員で坂町教育の方針や方向性を共有し、外部の有識者等を招聘した専門性の高い研修を実施することで、各学校の課題解決や坂町教育の研究を深める。                                                                           |
| (2) 坂町小中連携研修の充実<br>「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業（県）」「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート校事業（県）」「坂町『学びの変革』推進協議会（県）」等、合わせて 8 つの事業において、児童生徒一人一人に基礎的・基本的な内容の定着を図り、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 |
| (3) 坂町標準学力調査の実施<br>町内の全児童生徒を対象に学力調査を実施し、その結果を分析するとともに一人一人の課題や取組方針等を明確にしながら、積極的な授業改善及び個に応じたきめ細かな指導を行う。                                                                               |

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                                                                               | 目標値                                                 | 実績値                                                                                     | 評価 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ①基礎学力の定着・向上<br>○全国学力・学習状況調査<br>（全国平均値との比較）<br>・小学校：国語、算数<br>《調査対象：小 6》<br>・中学校：国語、数学<br>《調査対象：中 3》 | ①全国平均値<br>（実施年度数値）<br>・小学校（国語、算数）<br>・中学校（国語、数学、英語） | ①全国学力・学習状況調査<br>（全国平均値との比較）<br>・小 6：国（+7.8）、算（+7.5）<br>・中 3：国（+6.2）、数（+12.0）<br>英（-2.6） | A  |
| ②主体的な学びの充実<br>○坂町学びのアンケート調査<br>（過去 3 年間の平均値比較）<br>※アンケート内容：18・19 頁参照<br>4「授業（学び）」に関する質問            | ②肯定的な回答の割合<br>・小学校：85.0%<br>・中学校：92.2%              | ②肯定的な回答の割合<br>・小学校：83.2%(-1.8)<br>・中学校：86.0%(-6.2)                                      | B  |
| ③ICT 教育の推進<br>○坂町学びのアンケート調査<br>（過去 3 年間の平均値比較）<br>※アンケート内容：18・19 頁参照<br>7「情報教育（ICT）」に関する質問         | ③肯定的な回答の割合<br>・小学校：80.8%<br>・中学校：88.2%              | ③肯定的な回答の割合<br>・小学校：83.9%(+3.1)<br>・中学校：84.1%(-4.1)                                      | B  |

※評価方法①…A：+5 点以上、B：平均値以上、C：平均値未満、D：-5 点以下

※評価方法②③…A：目標値と同等、B：-10 点未満、C：-10 点以下・-20 点を超える、D：-20 点以下

### 4 成果と課題・改善策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○「全国学力・学習状況調査」では、5 教科中 4 教科について全国平均値を上回ることができた。中学校英語においては、全国平均値を 2.3 点下回ったものの、国語及び数学においては、大幅に上回ることができた。坂町主催研修において、児童生徒一人一人の課題や取組方針等を分析し、積極的な授業改善及び個に応じたきめ細かな指導について協議を行った成果である。</p> <p>○令和 5 年度では、小学校専科指導（理科、英語、体育）や学校間連携（算数）、指導方法工夫改善（算数）に係る加配を配置し、積極的な授業改善や課題等の明確化及び課題解決を図るとともに、取組の成果等を町内全校で共有し、個に応じたきめ細かな指導を充実させることができた。令和 6 年度も継続して加配の配置を行い、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。</p> <p>○ICT を効果的に活用し基礎学力の定着・向上を図ることができたが、英語については課題が見られた。今後は、「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業（県）を坂町小中連携研修に位置付け、外国語で表現することの楽しさを味わわせるとともに、英語力の向上を目指す。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 令和5年度 点検評価票

|        |            |
|--------|------------|
| 中期経営目標 | 健やかな体の育成   |
| 短期経営目標 | 体力・運動能力の向上 |

### 1 具体的なねらい

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 学校教育活動全体での取組

体力づくりを体育・保健体育科の授業はもとより、総合的な学習の時間、特別活動、部活動、始業前、昼休み、放課後等の教育活動全体で取組の充実、運動の日常化を図る。

#### (2) 坂町体力づくり研修の開催（3回／年）

小中学校合同の研修会において、各種データの分析や各校の取組等について情報交換し、体育主任の専門性や実践力の向上に努めるとともに、「小学校教科担任制推進加配（体育科）」を中心に体力向上及び体育科授業等の工夫・改善を図る。

#### (3) 「体力づくり改善計画」の活用

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった課題解決を図るため、各校が「体力づくり改善計画」を作成し、発達の段階に応じた運動の実践を行う。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                         | 目標値                                                                                                      | 実績値                                                                                           | 評価 |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○新体力テスト<br>(全国平均値比較)<br>【テスト種目】<br>※対象:小5、中2 | ○小中学校…体力合計点<br>(令和5年度全国平均値比)<br>・小学校男子: 52.59/80点<br>女子: 54.28/80点<br>・中学校男子: 41.32/80点<br>女子: 47.22/80点 | ○体力合計点<br>小学校男子: 54.15(+1.56)<br>女子: 55.87(+1.59)<br>中学校男子: 52.13(+10.81)<br>女子: 53.94(+6.72) | A  |

※評価方法 …A: +2ポイント以上、B: 目標値と同等、C: -2ポイント以下・-5ポイントを超える、D: -5ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

- 令和5年度は、小学校教科担任制推進加配（体育科：坂小及び横浜小配置）を中心に、体力向上の取組を小中学校で共有し、運動機会の増加や体力・運動能力の向上を図ることができた。令和6年度以降も引き続き、小学校教科担任制推進加配を要望する。
- 中学校においては、ウォーミングアップの工夫やICT機器を活用した自己分析等、積極的な授業改善の成果が見られ、大幅に全国平均値を上回ることができた。
- 今後も引き続き、「体力づくり改善計画」を活用した授業づくりや運動の日常化、部活動（中学校）の充実を継続し、児童生徒の運動機会の増加や運動に対する意欲の向上につなげる。
- 1人1台のタブレット端末を活用することで、自己目標の設定や記録への挑戦などを視覚的に捉えることができるよう支援して、意欲のさらなる向上及び体力・運動能力の向上を図る。
- 食育・学校給食との関連を意識した取組・方策とする。

## 令和5年度 点検評価票

|        |            |
|--------|------------|
| 中期経営目標 | 生徒指導体制の確立  |
| 短期経営目標 | 積極的生徒指導の充実 |

### 1 具体的なねらい

一人一人の児童生徒の健全な成長を促し、児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 坂町生徒指導連絡協議会の開催（7回／年）

各小中学校の生徒指導主事を対象に、理論研修、授業観察、実態交流等を行い、生徒指導方針（基準の明確化）の共通理解を図り、予防的積極的な取組を意識し、指導力の向上及び生徒指導体制の機能化を目指す。

#### (2) 「いじめアンケート」の実施（3回／年〔6・11・2月〕）

児童生徒及び保護者を対象にアンケートを実施するとともに、アンケート結果から全児童生徒の個別面談を丁寧に行い、いじめの早期発見、早期対応、真の解決に努める。

#### (3) 教育相談体制の確立

教職員に加えて、心理の専門家であるスクールカウンセラーや福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーとともに、児童生徒の様々な情報の整理統合やアセスメント、支援計画等の作成を早期に行い、教職員が組織的に支援できる体制を確立する。

#### (4) 「子どもと向き合う時間」の確保

教員の長時間勤務課題の解決に向けて、児童生徒の出欠や成績の管理を行う校務支援システムの運用等により健康でいきいきとやりがいをもって勤務できる環境を整備し、教員が子どもと向き合う時間を確保する。

※「子どもと向き合う時間」…授業・授業準備・教材研究・部活動・個別指導など児童生徒等の指導に関係ある業務に従事する時間

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                                                                   | 目標値                                     | 実績値                                            | 評価 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------------|----|
| ①規範意識・自己肯定感の醸成<br>○坂町学びのアンケート調査<br>（過去3年間の平均値比較）<br>※アンケート内容：18・19頁参照<br>5「学校生活」に関する質問 | ① 肯定的な回答の割合<br>・小学校：91.4%<br>・中学校：95.7% | ①肯定的な回答の割合<br>・小：93.1%(+1.7)<br>・中：92.3%(-3.4) | A  |

|                                                                                                               |                                                                   |                                                                    |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---|
| ②不登校の児童生徒数の割合<br>(令和4年度との全国平均値比較)                                                                             | ②不登校の割合<br>(100人あたりの不登校児童生徒数)<br>・小学校：全国 1.70 人<br>・中学校：全国 5.98 人 | ② 不登校の割合<br>・小： 1.45 人(-0.25)<br>・中：12.46 人(+6.48)                 | D |
| ③「子どもと向き合う時間」が確保されていると感じている教員(管理職を除く)の割合<br>※アンケート①<br>「子どもと向き合う時間が確保できている」<br>アンケート②<br>「日々の業務の中で充実感を得られている」 | ③ 肯定的な回答の割合<br>・アンケート①：80.0%<br>・アンケート②：77.0%                     | ③ 肯定的な回答の割合<br>・アンケート①：85.0%<br>(+5.0)<br>・アンケート②：92.0%<br>(+15.0) | A |

※評価方法① … A:目標値と同等、B:-10ポイント未満、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

※評価方法② …A:-1.5ポイント未満、B:-1.5ポイント以上0ポイント未満、C:0ポイント以上+2ポイント未満、D:+2ポイント以上

※評価方法③…「基準評価」

#### 4 成果と課題・改善策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○年3回実施した「いじめアンケート」の結果から個別面談や聞き取り等を丁寧に行い、早期に発見し対応したことや「チーム学校」としてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した教育相談体制を確立することができた。</p> <p>○規範意識や自己肯定感に関するアンケート結果では、肯定的な回答が小学 93.1 ポイント、中学校は 92.3 ポイントと高い数値を維持している。継続して、「礼節」を基本とした教育を推進してきた成果である。</p> <p>○令和5年度の不登校児童生徒数の割合は、令和4年度の全国平均値より、小学校で 0.25 ポイント、下回ったものの、中学校において 6.48 ポイント上回った。主な要因としては、ゲーム及びメディア等への依存や新型コロナウイルスに係る自宅待機等による生活リズムの乱れ、学校の集団生活に対する不安などが考えられる。今後は、ポストコロナにおいて、授業や部活動、各種行事等をコロナ前の姿に戻し、児童生徒の健やかな学びを保障することで、生活リズムの改善及び学習意欲の向上を図る。また、ICTを活用した支援を充実させること及びチーム学校として、学級担任や養護教諭を中心に児童生徒の心身の状況、人間関係、身なり、言動等を丁寧に観察するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと積極的に連携し、支援を行う。さらに、不登校 SSR(スペシャルサポートルーム)推進校を中心とした、不登校の未然防止及び不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化・充実を行う。</p> <p>○「子どもと向き合う時間」が確保されていると感じている教員(管理職を除く)の割合については、アンケート①②ともに、目標値を大幅に上回ることができた。部活動指導員の配置や校務支援システムの導入、スクールサポートスタッフの全校配置等の成果である。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 令和 5 年度 点検評価票

|        |         |
|--------|---------|
| 中期経営目標 | 安全教育の推進 |
| 短期経営目標 | 防災教育の充実 |

### 1 具体的なねらい

自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安心・安全な社会づくりに参加し貢献できるような資質や能力を養う。

### 2 取組・方策

#### (1) 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」(県) の充実

平成 30 年豪雨災害の経験や教訓を生かした防災教育を推進し、生涯にわたる防災対応能力の基礎を育成するとともに、復興に向けて心身ともにたくましく生き抜く力を育む防災教育を推進する。

また、町内施設の活用を図り、自他の命を大切にし、思いやる力を育むとともに、防災教育における「自助」の力と「共助」の精神を育み、自他の命を守り抜くために必要な判断力・行動力を育成する。

#### (2) 「ひろしまマイ・タイムライン」作成の推進

「ひろしまマイ・タイムライン」を活用し、各家庭における避難行動について考えるよう支援することで、風水害の前触れや被害について正しく理解するとともに、防災意識を高める。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                                                                     | 目標値                                      | 実績値                                                    | 評価 |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----|
| ○坂町学びのアンケート調査<br>(過去 3 年間の平均値比較)<br>※アンケート内容: 18・19 頁参照<br>6「防災教育」に関する質問 | ○肯定的な回答の割合<br>・小学校: 88.7%<br>・中学校: 95.5% | ○肯定的な回答の割合<br>・小学校: 85.8% (-2.9)<br>・中学校: 92.3% (-3.2) | B  |

※評価方法 …A:目標値と同等、B:-10ポイント未満、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

- 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」(県) では、坂中学校を中心に防災教育の単元開発を行うことができた。「防災に強い町づくりを目指して、ふるさと坂のために自分たちにできること」を考える取組により、中学校において 92.3%の肯定的回答を得ることができた。
- 各学校において、「ひろしまマイ・タイムライン」を活用し、各家庭における避難行動について考えることができた。また、地域の防災士をゲストティーチャーに招き、ハザードマップを作成するなど、地域の危険個所について正しく理解するとともに、防災意識を高める取組も見られた。今後も災害を風化させないための取組を継続し、災害時の危険個所及び避難場所等の理解については、児童生徒の肯定的回答 100%を目指したい。
- 令和 6 年度も、引き続き、総合的な学習の時間を軸とした防災教育の取組を推進する。研究推進リーダー教員を中心とした防災教育における単元開発を活かし、「待つな! 迷うな! 逃げろ!」を合言葉とし、自他の命を守り抜くために必要な判断力・行動力を育成する。

坂町学びのアンケート集計（小学校）

実施日：令和6年2月

実施校：坂小学校・横浜小学校・小屋浦小学校（第6学年）

実施人数：107人

| 1「礼節」に関する質問                       | ●肯定 93.8%<br>◆否定 6.2% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |      |
|-----------------------------------|-----------------------|-------|-------|-------|------|
|                                   |                       | 人数    | 割合    | 人数    | 割合   |
| (1) 約束の時間や自分で決めた時間を守ろうとしている。      |                       | 103   | 96.3% | 4     | 3.7% |
| (2) 心のこもったあいさつをしている。              |                       | 101   | 94.4% | 6     | 5.6% |
| (3) 物を大切にし、整理整頓をすることを心がけている。      |                       | 99    | 92.5% | 8     | 7.5% |
| (4) 学校への感謝の気持ちをもって、清掃することを心がけている。 |                       | 98    | 91.6% | 9     | 8.4% |
| (5) 相手に失礼のない言動を心がけている。            |                       | 101   | 94.4% | 6     | 5.6% |

| 2「道徳」に関する質問                                         | ●肯定 96.4%<br>◆否定 3.6% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |      |
|-----------------------------------------------------|-----------------------|-------|--------|-------|------|
|                                                     |                       | 人数    | 割合     | 人数    | 割合   |
| (1) 道徳の勉強は、ためになると思う。                                |                       | 107   | 100.0% |       |      |
| (2) 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、他の人の考えを聞きながら、自分のことについて考えている。 |                       | 97    | 90.7%  | 10    | 9.3% |
| (3) いじめは、どんな理由があっても許されない。                           |                       | 106   | 99.1%  | 1     | 0.9% |
| (4) 人の気持ちが分かる人間になりたい。                               |                       | 105   | 98.1%  | 2     | 1.9% |
| (5) 道徳で勉強したことを自分の生活にいかそうとしている。                      |                       | 101   | 94.4%  | 6     | 5.6% |

| 3「郷土愛・グローバル」に関する質問                 | ●肯定 72.3%<br>◆否定 27.7% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |       |
|------------------------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                    |                        | 人数    | 割合    | 人数    | 割合    |
| (1) 自分の地域の行事に参加している。               |                        | 82    | 76.6% | 25    | 23.4% |
| (2) 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある。 |                        | 83    | 77.6% | 24    | 22.4% |
| (3) 外国人と友達になり、外国のことについてもっと知りたい。    |                        | 77    | 72.0% | 30    | 28.0% |
| (4) 日本や坂町（地域）のことを外国人にもっと知ってもらいたい。  |                        | 90    | 84.1% | 17    | 15.9% |
| (5) 将来、国際社会で活躍したいと考えることがある。        |                        | 55    | 51.4% | 52    | 48.6% |

| 4「授業（学び）」に関する質問                        | ●肯定 83.2%<br>◆否定 16.8% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |       |
|----------------------------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                        |                        | 人数    | 割合    | 人数    | 割合    |
| (1) 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 |                        | 96    | 89.7% | 11    | 10.3% |
| (2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。       |                        | 96    | 89.7% | 11    | 10.3% |
| (3) 自分で課題を立てて、学習に取り組んでいる。              |                        | 79    | 73.8% | 28    | 26.2% |
| (4) 落ち着いて勉強することができている。                 |                        | 94    | 87.9% | 13    | 12.1% |
| (5) 失敗しても学ぶことはおもしろい。                   |                        | 80    | 74.8% | 27    | 25.2% |

| 5「学校生活」に関する質問                      | ●肯定 93.1%<br>◆否定 6.9% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |       |
|------------------------------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                    |                       | 人数    | 割合    | 人数    | 割合    |
| (1) 学校での生活は楽しい。                    |                       | 100   | 93.5% | 7     | 11%   |
| (2) 今の学級の一員でよかった。                  |                       | 103   | 96.3% | 4     | 3.7%  |
| (3) 自分には、よいところがある。                 |                       | 89    | 83.2% | 18    | 16.8% |
| (4) 学校のきまり（規則）や社会でのマナーを守ろうと意識している。 |                       | 104   | 97.2% | 3     | 2.8%  |
| (5) 人が困っているときは、進んで助けようとしている。       |                       | 102   | 95.3% | 5     | 4.7%  |

| 6「防災教育」に関する質問                             | ●肯定 85.8%<br>◆否定 14.2% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |       |
|-------------------------------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                           |                        | 人数    | 割合    | 人数    | 割合    |
| (1) 災害が起きた時に、安全な場所（避難所）がどこかを知っている。        |                        | 97    | 90.7% | 10    | 9.3%  |
| (2) 地域で起こりやすい災害の危険性について理解している。            |                        | 93    | 86.9% | 14    | 13.1% |
| (3) 危険を予測して、自らの安全を確保したり、避難行動をとることができると思う。 |                        | 92    | 86.0% | 15    | 14.0% |
| (4) 他の人や地域の安全のために役立ちたいと考えている。             |                        | 92    | 86.0% | 15    | 14.0% |
| (5) 自分の住んでいる地域で災害が起きたら、ボランティア活動に進んで参加したい。 |                        | 85    | 79.4% | 22    | 20.6% |

| 7「情報教育（ICT）」に関する質問                          | ●肯定 83.9%<br>◆否定 16.1% | 肯定的回答 |       | 否定的回答 |       |
|---------------------------------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                                             |                        | 人数    | 割合    | 人数    | 割合    |
| (1) 学校で、ほぼ毎日パソコンを使っている。                     |                        | 69    | 64.5% | 38    | 35.5% |
| (2) パソコンを使った学習は、分かりやすくより内容が深まる。             |                        | 103   | 96.3% | 4     | 3.7%  |
| (3) 文字入力やインターネットでの検索など、基本的なパソコンの操作ができる。     |                        | 87    | 81.3% | 20    | 18.7% |
| (4) 情報をコンピュータを使ってグラフにしたり、プレゼン発表したりすることができる。 |                        | 87    | 81.3% | 20    | 18.7% |
| (5) ネットワーク上のルールやマナー、法を守ることの意味や責任を理解している。    |                        | 103   | 96.3% | 4     | 3.7%  |

坂 町 学 び の ア ン ケ ー ト 集 計 ( 中 学 校 )

実施日： 令和 6 年 2 月

実施校： 坂中学校（第 3 学年）

実施人数： 93 人

| 1 「礼節」に関する質問                      | ●肯定<br>◆否定 | 93.1%<br>6.9% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |       |
|-----------------------------------|------------|---------------|-------|--------|-------|-------|
|                                   |            |               | 人数    | 割合     | 人数    | 割合    |
| (1) 約束の時間や自分で決めた時間を守ろうとしている。      |            |               | 90    | 96.8 % | 3     | 3.2 % |
| (2) 心のこもったあいさつをしている。              |            |               | 87    | 93.5 % | 6     | 6.5 % |
| (3) 物を大切に、整理整頓をすることを心がけている。       |            |               | 84    | 90.3 % | 9     | 9.7 % |
| (4) 学校への感謝の気もちをもって、清掃することを心がけている。 |            |               | 84    | 90.3 % | 9     | 9.7 % |
| (5) 相手に失礼のない言動を心がけている。            |            |               | 88    | 94.6 % | 5     | 5.4 % |

| 2 「道徳」に関する質問                                        | ●肯定<br>◆否定 | 93.5%<br>6.5% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |        |
|-----------------------------------------------------|------------|---------------|-------|--------|-------|--------|
|                                                     |            |               | 人数    | 割合     | 人数    | 割合     |
| (1) 道徳の勉強は、ためになると思う。                                |            |               | 89    | 95.7 % | 4     | 4.3 %  |
| (2) 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、他の人の考えを聞きながら、自分のことについて考えている。 |            |               | 84    | 90.3 % | 9     | 9.7 %  |
| (3) いじめは、どんな理由があっても許されない。                           |            |               | 91    | 97.8 % | 2     | 2.2 %  |
| (4) 人の気もちが分かる人間になりたい。                               |            |               | 89    | 95.7 % | 4     | 4.3 %  |
| (5) 道徳で勉強したことを自分の生活にいかそうとしている。                      |            |               | 82    | 88.2 % | 11    | 11.8 % |

| 3 「郷土愛・グローバル」に関する質問                | ●肯定<br>◆否定 | 60.0%<br>40.0% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |        |
|------------------------------------|------------|----------------|-------|--------|-------|--------|
|                                    |            |                | 人数    | 割合     | 人数    | 割合     |
| (1) 自分の地域の行事に参加している。               |            |                | 58    | 62.4 % | 35    | 37.6 % |
| (2) 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある。 |            |                | 53    | 57.0 % | 40    | 43.0 % |
| (3) 外国人と友達になり、外国のことについてもっと知りたい。    |            |                | 65    | 69.9 % | 28    | 30.1 % |
| (4) 日本や坂町（地域）のことを外国人にもっと知ってもらいたい。  |            |                | 62    | 66.7 % | 31    | 33.3 % |
| (5) 将来、国際社会で活躍したいと考えることがある。        |            |                | 41    | 44.1 % | 52    | 55.9 % |

| 4 「授業（学び）」に関する質問                       | ●肯定<br>◆否定 | 86.0%<br>14.0% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |        |
|----------------------------------------|------------|----------------|-------|--------|-------|--------|
|                                        |            |                | 人数    | 割合     | 人数    | 割合     |
| (1) 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 |            |                | 87    | 93.5 % | 6     | 6.5 %  |
| (2) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。       |            |                | 83    | 89.2 % | 10    | 10.8 % |
| (3) 自分で課題を立てて、学習に取り組んでいる。              |            |                | 76    | 81.7 % | 17    | 18.3 % |
| (4) 落ち着いて勉強することができている。                 |            |                | 81    | 87.1 % | 12    | 12.9 % |
| (5) 失敗しても学ぶことはおもしろい。                   |            |                | 73    | 78.5 % | 20    | 21.5 % |

| 5 「学校生活」に関する質問                     | ●肯定<br>◆否定 | 92.3%<br>7.7% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |        |
|------------------------------------|------------|---------------|-------|--------|-------|--------|
|                                    |            |               | 人数    | 割合     | 人数    | 割合     |
| (1) 学校での生活は楽しい。                    |            |               | 90    | 96.8 % | 3     | 3.2 %  |
| (2) 今の学級の一員でよかった。                  |            |               | 86    | 92.5 % | 7     | 7.5 %  |
| (3) 自分には、よいところがある。                 |            |               | 74    | 79.6 % | 19    | 20.4 % |
| (4) 学校のきまり（規則）や社会でのマナーを守ろうと意識している。 |            |               | 91    | 97.8 % | 2     | 2.2 %  |
| (5) 人が困っているときは、進んで助けようとしている。       |            |               | 88    | 94.6 % | 5     | 5.4 %  |

| 6 「防災教育」に関する質問                            | ●肯定<br>◆否定 | 92.3%<br>7.7% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |       |
|-------------------------------------------|------------|---------------|-------|--------|-------|-------|
|                                           |            |               | 人数    | 割合     | 人数    | 割合    |
| (1) 災害が起きた時に、安全な場所（避難所）がどこかを知っている。        |            |               | 84    | 90.3 % | 9     | 9.7 % |
| (2) 地域で起こりやすい災害の危険性について理解している。            |            |               | 90    | 96.8 % | 3     | 3.2 % |
| (3) 危険を予測して、自らの安全を確保したり、避難行動をとることができると思う。 |            |               | 84    | 90.3 % | 9     | 9.7 % |
| (4) 他の人や地域の安全のために役立ちたいと考えている。             |            |               | 86    | 92.5 % | 7     | 7.5 % |
| (5) 自分の住んでいる地域で災害が起きたら、ボランティア活動に進んで参加したい。 |            |               | 85    | 91.4 % | 8     | 8.6 % |

| 7 「情報教育（ICT）」に関する質問                         | ●肯定<br>◆否定 | 84.1%<br>15.9% | 肯定的回答 |        | 否定的回答 |        |
|---------------------------------------------|------------|----------------|-------|--------|-------|--------|
|                                             |            |                | 人数    | 割合     | 人数    | 割合     |
| (1) 学校で、ほぼ毎日パソコンを使っている。                     |            |                | 79    | 84.9 % | 14    | 15.1 % |
| (2) パソコンを使った学習は、分かりやすくより内容が深まる。             |            |                | 75    | 80.6 % | 18    | 19.4 % |
| (3) 文字入力やインターネットでの検索など、基本的なパソコンの操作ができる。     |            |                | 88    | 94.6 % | 5     | 5.4 %  |
| (4) 情報をコンピュータを使ってグラフにしたり、プレゼン発表したりすることができる。 |            |                | 57    | 78 %   | 36    | 22 %   |
| (5) ネットワーク上のルールやマナー、法を守ることの意味や責任を理解している。    |            |                | 92    | 98.9 % | 1     | 1.1 %  |

## 令和5年度 点検評価票

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 中期経営目標 | 地域文化の保存、継承           |
| 短期経営目標 | 坂町の歴史や文化に対する理解と関心の醸成 |

### 1 具体的なねらい

町民の郷土に対する歴史的理解を深めるとともに、後世へ文化を継承し、町民の文化意識の向上と町勢発展に努める。

### 2 取組・方策

#### (1) 主催行事等の充実とアンケート調査

主催行事等において、坂町の文化・歴史に対する関心が高まる内容を取り入れるとともに、事後アンケート調査を実施する。

- 「坂町を知ろう」※7月22日開催、「ようよう坂町ウォーキング」※通年開催、「坂町悠々健康ウォーキング」※3月24日開催、「坂町文化祭」※11月3日開催、「芸術文化啓発事業」※3月3日開催

#### (2) 文化財等の維持管理と活用

文化財等を最善の状態で後世に残していくためにも、既存の展示室（町民センター内）及び令和4年度に完成した文化財倉庫を利用し、文化財等の維持管理に取り組んだ。それに伴い、上記施設の環境整備を年間通じて実施するとともに、旧倉庫にて保有していた文化財等の把握と整理を引き続き行い、倉庫と展示室で定期的な入替を行い、多くの文化財等を町民に公開できるようにする。

#### (3) 史跡案内看板の利用

前年度に引き続き、各種イベントやウォーキング等で活用し、周知を図った。また、看板を読み、歴史的理解等を深めてもらうためにも、全ての看板までの道筋が分かる動画を作成し、町民等に向けて公開できるようにする。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                               | 目標値                | 実績値                        | 評価 |
|------------------------------------|--------------------|----------------------------|----|
| ①関心・意欲に関するアンケート調査<br>(過去3年間の平均値比較) | ①肯定的な回答の割合<br>・85% | ①肯定的な回答の割合<br>・88.2%(+3.2) | A  |
| ②行事に対する満足度調査<br>(過去3年間の平均値比較)      | ②肯定的な回答の割合<br>・90% | ②肯定的な回答の割合<br>・88.5%(-1.5) | B  |

※評価方法①②…A:目標値以上、B:-10ポイントを超える、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

○新型コロナウイルスの影響により中止されていた多くのイベントが開催された。実施したイベントの満足度調査については、目標値をわずかに下回ったが、関心・意欲に関する調査とともに、高い肯定的な意見をいただいており、町の開催するイベントへの期待の高さを再認識した。今後も参加者等の意見を伺いながら、各イベントの充実を図る。また、地域の偉人漫画を発刊することができた。

○坂町史に記載がある史跡等を「ようよう坂町ウォーキング」のコースに取り入れ、説明を行った。

令和6年度も引き続きイベント等に取り入れ、町史に係る関心を高めていくように努めていく。

○新型コロナウイルスの影響により開催できなかった事業は、5類への移行により順次再開しているが、長期間にわたって中止してきた影響から、イベント自体の認知度が下がっている懸念があるので、「広報さか」やホームページ、LINEやdボタンといった町の広報媒体を通じて周知を図る。

○案内看板の動画は、坂町文化祭で紹介し、好評だった。「どの辺りを歩いているのか分かるよう、地図等を画面上に表示すると臨場感がでる。」などの町民の意見を参考に、分かりやすい案内看板についての紹介がホームページ等でできるよう、工夫・改善を行なう。

## 令和5年度 点検評価票

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 中期経営目標 | 生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実 |
| 短期経営目標 | 図書館サービスの向上         |

### 1 具体的なねらい

町民に必要とされる図書館を目指し、ニーズと時代の変化に対応しながら、町民の自主的な学習・文化・余暇活動を支援する。

### 2 取組・方策

#### (1) イベント等啓発事業の充実

町立図書館において「図書館こどもまつり」を開催し、ボランティアによる読み聞かせ、職場（図書サービス）体験、POP づくり、図書館のお仕事体験を行うことにより、子どもと大人が読書の楽しさを知るきっかけをつくり、読書体験を深めるような機会を提供する。また、補助金等の活用により、活動の更なる充実を検討する。

#### (2) 情報発信の充実

税務住民課へ協力依頼し、図書館の案内パンフレットを転入者等へ随時配布する。年代に応じた「図書館だより」を作成し、定期的に配布する。また、様々な世代に幅広い情報を提供するため、SNS 等を効果的に活用した情報を発信するとともに、社会状況に応じた新たな取組の創出及び工夫・改善に努める。中でも、時間を問わず貸出予約ができ、希望の施設での受け取りが可能なインターネット予約サービスをより一層周知し、様々な図書館の利用方法があることを広める。

#### (3) 関係機関との連携・協働

保険健康課主管である乳児健診等を実施する際には、健診施設に移動図書館を設置するサービスを実施する等、関係機関と連携し読書活動を推進する。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標           | 目標値（令和5年度） | 実績値                 | 評価 |
|----------------|------------|---------------------|----|
| ①図書等貸出冊数       | ①47,269 冊  | ①47,493 冊<br>(+0.4) | A  |
| ②年間一人当たりの貸出冊数  | ②3.71 冊/年  | ②3.72 冊/年<br>(+0.2) | A  |
| ③インターネット予約利用者数 | ③1,050 人/年 | ③877 人/年<br>(-16.4) | C  |

※評価方法①②③…A:目標値以上、B:-10ポイントを超える、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

※①②:「日本図書館協会調査（全国市町村）」の前年度数値比較

※③インターネット予約利用者数については、令和4年度から点検評価を実施。昨年度目標値が1,300人/年と目標値が高すぎ、実績値が951人/年だったため、令和5年度は昨年度実績より10%高い目標値を設定。

#### 4 成果と課題・改善策

- 令和5年度の図書館貸出冊数は47,493冊で、実績値は0.4ポイント上回った。  
インターネット予約利用者は令和4年度の951人から令和5年度の877人と74人減少した。  
この要因としては、インターネット予約は希望の本を1週間取り置きできるメリットがあるものの、令和4年度から通常利用を再開したことにより、来館したうえで実際に本を手にする利用者が多かったためと思われる。今後はインターネット予約についての利用者の傾向やニーズ等の情報を収集し、検証していく。
- 「図書館こどもまつり」については令和4年度に3年ぶりに開催し、令和5年度も開催場所は町立図書館のみで、3日間を通して基本的に事前予約制として開催した。浴衣を着た参加者にプレゼントを渡し、まつりの参加者と坂町のキャラクターの坂うめじろうとの記念撮影を行う等の工夫により、まつりを盛り上げることができた。
- 関係機関との連携事業である「はじめて絵本事業」等、一部の事業が中止となり、計画していたような読書活動の推進を図ることができなかったが、今後も関係機関と連携し、事業の再開にむけて調整していく。
- 情報発信については定期的な「広報さか」への掲載、「図書館だより」の配布、LINEへの配信も継続し、アナログとデジタルでの複数の情報発信方法を活用する。また発信回数を増やすことにより、更なる利用者の増加につなげていきたい。
- 転入や出生の届出の機会に、令和5年度に作成した図書館の案内パンフレットを役場税務住民課の窓口で配布するなど、他課にも協力してもらい町全体で、新規利用者の増加を図っている。利用者の増加については、新規で図書貸出カードを発行した方にアンケート等で検証していく。
- 「読み聞かせ講座」と「折り紙体験」については、今後も参加者増加に向けた取組をしたい。
- 講座開催日時の設定や内容について検証し、より良いものにするため令和6年度は外部講師を招く等により講座の充実を図る。
- 町民からは、オンライン検索を出来るようにしてほしい等、すでに提供しているサービスを希望されることがあるため、図書館での各種サービスの内容を改めて周知する必要がある。そのため、広報誌、公式LINEを軸に積極的な周知に努め、利用者自らの学習・文化・余暇活動につなげていきたい。
- 令和5年度は県の補助金を活用し、読み聞かせグループ「くれよん」が、紙芝居スタンドや図書等の購入をし、図書館活動の充実を図った。
- 町内の小・中学校に町立図書館司書が出向き、学校と図書館が連携し図書館活動を充実する。
- 県立図書館とも連携し、さらなる図書館活動を充実する。

## 令和5年度 点検評価票

|        |             |
|--------|-------------|
| 中期経営目標 | 生涯スポーツの推進   |
| 短期経営目標 | 生涯スポーツ社会の実現 |

### 1 具体的なねらい

町民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す。

### 2 取組・方策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 各種教室の充実とアンケート調査</p> <p>各種教室でスポーツへの関心・意欲、健康増進への意識が高まるよう内容を工夫・改善し、事後アンケート調査を実施する。</p> <p>○親子ふれあい体操教室（参加：25組）※10/17～12/21の間で16回中16回実施</p> <p>○親子ふれあい水泳教室（参加：7組）※7/4、7.11.14 4回中4回実施</p> <p>○小学生水泳教室（1年:22人、2・3年生:39人）※5/30～6/30の間で18回中18回実施</p> <p>(2) 各種教室・大会等の情報発信</p> <p>坂町広報誌やホームページへの掲載及び関係機関等との連携を図り、町内外へ積極的に情報発信する。</p> <p>○幼児・小学生を対象とした各種教室 ○町内体育大会、広島ベイマラソン大会等</p> <p>(3) 軽スポーツの普及</p> <p>スポーツ推進委員へカローリング等の軽スポーツの普及活動の協力要請を行い、軽スポーツの普及に努める。</p> <p>(4) 障害者スポーツについては、民生課が実施している障害を持つ方を対象としたダンスの取組への参加、及び県の担当部署とも連携するなど、問題点などを詰めながら進める。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                            | 目標値                | 実績値                 | 評価 |
|---------------------------------|--------------------|---------------------|----|
| ① 各種事業のアンケート調査<br>(過去3年間の平均値比較) | ①肯定的な回答の割合<br>・95% | ①肯定的な回答の割合<br>・100% | A  |
| ② 各種大会の満足度調査<br>(過去3年間の平均値比較)   | ②肯定的な回答の割合<br>・95% | ②肯定的な回答の割合<br>・100% | A  |

※評価方法①②…A:目標値以上、B:-10ポイントを超える、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○「親子ふれあい体操教室」、「親子ふれあい水泳教室」、「小学生水泳教室」を開催し、各教室を通じて、保護者の方から子どもが「ありがとう」「こんにちは」とあいさつを自分から言えるようになったとの声があった。</p> <p>○体操・水泳教室や町が主催している事業など、子どもたちが、スポ少、中学校・高校からはクラブ活動など、スポーツが生きがいの一部に繋がっていくことを目指す。</p> <p>○各種教室・大会等の情報発信では、「広報さか」を通じて町民のスポーツ活動に対する意識の啓発・参加促進に努め、ホームページや公式LINEによるこまめな情報発信に努めた。</p> <p>○軽スポーツの普及のため、スポーツ推進委員によるカローリング、モルックの研修会を行った。また、カローリングの大会が開催することが出来たため、令和6年度もスポーツ推進委員での研修会を重ねて軽スポーツの普及に努めていく。</p> <p>○障害者スポーツの研修会についてスポーツ推進委員と実際に事業に参加したり、研修会などの実施ができるよう民生課と連携していく。</p> <p>○アンケート実績値の肯定的評価について、携わった方の一生懸命に教える熱意が伝わっている結果が出ているものと思われる。マンネリ化しないように、問題意識を持って取り組む。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 令和5年度 点検評価票

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 中期経営目標 | ウォーキングの推進           |
| 短期経営目標 | 「坂町悠々健康ウォーキング大会」の充実 |

### 1 具体的なねらい

ウォーキングを通じて健康でたくましい「こころ」と「からだ」をつくり、悠々とした心豊かな生活や郷土愛の醸成・地域の活性化を目指す。

### 2 取組・方策

#### (1) 「坂町悠々健康ウォーキング大会」の情報発信

坂町広報誌やホームページ等への掲載及び関係機関等との連携を図り、坂町公式 LINE や d ボタン広報を利用して町内外へ積極的に情報発信する。また、小中学校や住民協へ依頼し、大会案内を各世帯へ配布する。

#### (2) 大会運営の工夫・改善

- 新型コロナウイルス感染拡大防止について実行委員会・関係団体、他課等と協議を行う。
- 前回大会の反省点を改善し、他市町の大会を参考に、内容の更なる充実に努める。
- アンケートの回収率を高めるため、ゴール地点付近で実施する。
- 健康チェック等の感染防止対策を行い、安心して参加できるように工夫する。

#### (3) 活気とにぎわいの取組

これまで行っていた各種測定及びカキ雑炊の給食は食生活改善推進協議会及び女性会の協力を得て、新型コロナウイルス感染拡大前と同様に実施する。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                  | 目標値（令和元年度） | 実績値              | 評価 |
|-----------------------|------------|------------------|----|
| 「坂町悠々健康ウォーキング大会」参加人数  | 1,200 人    | 583 人<br>(-51.4) | D  |
| 満足度アンケート（過去3年間の平均値比較） | 80%        | 98.5%<br>(+18.5) | A  |

※評価方法①②…A:目標値以上、B:-10ポイントを超える、C:-10ポイント以下・-20ポイントを超える、D:-20ポイント以下

### 4 成果と課題・改善策

○令和6年3月24日に5年ぶりの開催となった。参加人数は新型コロナウイルス感染拡大前の大会の参加人数実績には及ばなかったが、当日雨天の中、申込者数662人の約8割の方に参加いただいた。イベント終了時アンケートでは、「知らない景色が見られて楽しかった」、「普段通らない道をゆっくり見ながら歩けた」等の参加者にとって新たな発見があり、「自然を楽しみながら友達と歩けた」、「話をしながら歩いたらあつという間だった。」等、参加者同士での交流を楽しんだ様子がうかがえ、本イベントに参加した方の満足度が高いことが窺える。今後も参加者の意見を伺いながら、内容の充実を図る。

○前回参加者や、ふるさと納税を行った方への周知を早めに行うこととしていたが、開催準備の関係で、一般への周知と同時期となったことから、次年度は早めの周知を行う。

○参加人数は目標値を下回ったが、満足度アンケートの結果から、本大会は参加者に高い評価を受けており、次年度の開催に向け、早めに開催を周知するなど、多くの方に参加していただけるよう、広報に努めたい。

## 令和 5 年度 点検評価票

|        |               |
|--------|---------------|
| 中期経営目標 | 生涯学習施設の有効活用   |
| 短期経営目標 | 町民交流センターの活用促進 |

### 1 具体的なねらい

町民に親しまれ、スポーツ・文化活動の交流拠点として広く活用されるよう、関係機関と連携・協力し、利用促進に努める。

### 2 取組・方策

#### (1) 各種（主催）イベントの開催

目的を明確にし、町民の元気と意欲を高め、豊かな生活を送ることができる各種イベントを開催する。

○NHKのど自慢 6月18日（日） ※来場者 677 名

○第15回吹奏楽フェスティバル 9月3日（土） ※来場者延べ 600 名

○サンスターサロン 9月23日（月・祝） ※来場者 55 名

○坂町平和音楽祭 12月9日（土） ※来場者 191 名

○共演 神楽の舞 12月17日（日） ※来場者 524 名

○その他【ピアノ試弾会（年3回、6月・10月・2月に実施）

※年間利用件数 96 件（内試弾会利用件数 49 件）

#### (2) 積極的な情報発信

ホームページや坂広報誌等への掲載や関係機関等と連携し、町内外への情報発信に努め、利用が見込まれる企業、学校関係のリストアップ行い、チラシや DM を配布するなどの利用促進を図った。また、Facebook、instagram、坂町公式 LINE、d ボタン広報誌など、継続して発信できるソーシャルメディアを活用し、更なる利用促進に努めた。

#### (3) 地域に密着・開かれたホール運営

誰もが気軽に利用できる施設運営に努め、来館者へのアンケート調査を実施し、意見を反映させた。※交流スペースの開放、明るいロビー、音楽や DVD の常時放送などの工夫をした。

### 3 評価指標・目標値・実績値・評価

| 評価指標                         | 目標値       | 実績値                  | 評価 |
|------------------------------|-----------|----------------------|----|
| ①施設利用人数（過去3年間の平均値比較）         | ①51,824 人 | ①60,680 人（+17.1ポイント） | A  |
| ②Facebook アクセス数（過去3年間の平均値比較） | ②4,338 件  | ②5,048 件（+16.4ポイント）  | A  |
| ③満足度アンケート（過去3年間の平均値比較）       | ③98.4%    | ③87.3%（-11.1ポイント）    | C  |

※評価方法①～③…A: 目標値以上、B: -10ポイントを超える、C: -10ポイント以下・-20ポイント以上、D: -20ポイント以下

#### 4 成果と課題・改善策

○施設利用人数は、目標値より 17.1 ポイント上回った。主な要因は、新型コロナウイルスの影響に伴う施設利用制限が解除されたことにより、町主催のイベントや、近隣の小・中・高等学校の学習発表会や合唱祭など、町内外からの利用が増加したことによるものである。

令和 6 年度はサンスターホール開館 10 周年記念ということもあり、大規模な行事やイベントも予定されているので、多くの方に来場していただけるよう周知方法を工夫しながら企画、運営をする。また、学校授業や行事、部活動等で施設を利用している児童、生徒が、大人になってもサンスターホールに「また利用したい」と思えるよう、親子で参加できるような講演会やスポーツ教室などを企画する。

○Facebook のアクセス数は順調に増加し、目標値より 16.4 ポイント上回った。コロナ禍においても継続的に SNS 発信を行ったことが主な要因である。

Facebook・instagram や坂町 LINE、d ボタン広報誌も活用しながら、若者世代へ当ホールの周知を図ることも期待できるので、今後もイベント情報やトピックス等を適宜アップするとともに、アクセス数の増加を図る。

○地域に密着・開かれたホール運営については、アンケート調査を実施できた「NHKのど自慢（「満足である」93.8%）」、「坂町平和音楽祭（「満足である」86.7%）」、「共演 神楽の舞（「満足である」81.5%）」であり、全体では 87.3%の方から満足であるとの回答を得た。共演神楽の舞について「例年演目が重複していて飽きる」という声が多かったので、神楽を知らない方々に対する集客や、新鮮な演目も提案しながらアンケート以外でも町民の生の声に直接耳を傾け、ニーズに応じた事業を展開していく。